

教科名	美術科	週時間数	1時間	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 美術 九村 図書 副教材 美術資料 秀学 社 レタリング字典 秀学 社		その他 持ち物	美術ファイル・絵の具セット 筆記用具、直定規、鉛筆（HB, 2 B）、 色鉛筆、その他制作に必要なもの	

学習のねらい	<p>表現及び観賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい愛好する心を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。</p> <p>①美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を養う。 ②感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し構想することができる。 ③基礎的な技能を身につけ、自分の表現意図に合う表現方法を工夫しながら創造的に表現することができる。 ④作者の心情や意図と表現のかかわりを理解し、作品を味わうことができる。</p>							
目指す姿	支え合う	<p>○作品に対する美術の見方や考え方など、互いの意見を通して感じたことや思いを共有し、意見交換や議論しながら、それぞれの作品へ活かしていく。 ○端末を用いて課題の参考になるような画像や動画、または自らで撮影した写真などをもとにどのような表現が好ましいかなど、見る人に伝わるように工夫、制作する。</p>						
	高め合う	<p>○鑑賞や制作など仲間との議論や意見交換の中で、お互いに出し合った意見や考え方を受け止め、よりよく制作へとつなげている。 ○制作などにおいて一方的に教える関係ではなく、わからないことを共有し、お互いのことを十分に理解したうえで、教え合う関係を築いている。</p>						
学習の進め方	<p>【学習への取り組み姿勢】授業に意欲的に、積極的に取り組みましょう。</p> <p>○各自の制作や授業に必要な資料や材料を準備し、工夫して制作に取り組めるようにしましょう。 ○他の教科で習ったことを、制作や鑑賞に活かせるようにしましょう。 ○指示をしっかりと聞き、根気よく制作に取り組みましょう。私語は慎み、制作に集中しましょう。 ○自分や他の人の作品を大切に、その良さを見つけてみましょう。 ○提出物は期日を守って必ず提出しましょう。 ○チャイム着席を心がけましょう。 ○制作の準備物を忘れないようにしましょう。 ○道具や材料を大切にしましょう。 ○制作後の後片付け、清掃をきちんとやりましょう。</p> <p>【家庭学習】</p> <p>○制作に必要な準備物を考えて用意しましょう。宿題は忘れずにやりましょう。 資料などが必要な場合は、インターネットや新聞、図書などを活用して、調べ学習をしておきましょう。 ○身の回りの美しいものを発見できるように、日頃から感性や観察力を磨きましょう。 ○美術館や作品展に足を運んだり、美術関連の番組を観るなど、日頃から芸術や美術に親しみましょう。</p> <p>【端末の活用】</p> <p>○生活の中で見つけた美しいものや、発見したものを撮影・保存し、作品に活用しましょう。 ○アイデアや創造・想像に必要な情報を収集し、活用していきましょう。 ○他の考え方や意見をまとめ、提示するのに活用していきましょう。</p>							
定期テスト	出題方針	主に授業で習ったこと、作業した内容を中心に出題します。実技テストでは、準備物を忘れないようにしましょう。						
	範囲 (予定)	1学期中間						
		1学期期末				詳しくは、テスト前に配布されるテスト範囲を確認して下さい。		
		2学期中間						
		2学期期末						
		学年末				詳しくは、テスト前に配布されるテスト範囲を確認して下さい。		
評価方法	観点	評価の方法	評価について					
	知識・技能	定期考査	授業の様子及び制作態度全般、授業での発表、準備、後片付の状況、作品、ワークシート、アイデアスケッチ等の内容や提出状況					
	思考・判断・表現	定期考査	授業の様子、作品、アイデアスケッチ等の内容、計画などのワークシート、制作態度全般					
	主体的に学習に取り組む態度	ワークシート 感想文 定期考査 テスト	授業の様子、授業での発表、作品、アイデアスケッチ等の内容 計画などのワークシート・テスト 制作態度全般 定期考査授業の様子					